

## 令和3年度 島田市中小企業・小規模企業振興推進会議の展望

(本年度テーマ設定資料)

---

### 1. 新たに創設した補助金制度のバージョンアップの検討

令和2年度の成果として補助金制度を創設したことから、更なる高みを目指すためにも行政側ができること、事業者の障害を除くことは何かを検討しながら、施策の改良を図っていくことも必要ではないか。

### 2. 新たな支援制度（新型コロナウイルス対策）の創設

長期化する新型コロナウイルス感染症により、日々疲弊している事業者も少なくない。コロナ禍で大打撃を受けている飲食・観光業など、苦しむ事業者支援のために新たにできることはないか。

### 3. DX（デジタルトランスフォーメーション）化推進のための支援施策の検討

島田市はDX宣言をした。「市民サービス」「行政経営」「地域・産業」の3分野において積極的に変革していくことを宣言した。行政として推進を図ることはもちろんではあるが、地域・産業分野の担い手は事業者の皆様である。しかし、中々進んでいないことが現状なので、推進を図るため支援が必要ではないか。

### 4. 事業継続計画（BCP）策定のための支援施策の検討

近年は台風、大雨、地震などによる自然災害の発生が目立ち、先日の熱海市も例外ではない。それに加え、新型コロナウイルス感染症のような予期せぬ事態も起こるなど、いつどこで誰が困難な状況に陥るかは想像もつかない。そのため、あらゆる可能性を考慮し事業継続計画を策定することは、備えとして大きな意味があるのではないか。

### 5. 事業承継のための支援施策の検討

実態調査の結果によれば、製品やサービス面以外での課題として、事業承継は、販路開拓、人材確保に次ぎ3番目に多い。それにもかかわらず、3割ほどの事業者は事業承継については未定、あるいは検討したこともない状況となっている。何らかの形で支援できないか。